

Hokkaido Nougyou Doboku  
Sokuryou Sekkei Kyoukai Jihou

# 農士測協時報



冬の使者オジロワシ(斜里町にて) 飯田 直男

一般社団法人 **北海道農業土木測量設計協会**

札幌市中央区北2条西3丁目1-21 札幌北2条ビル5階

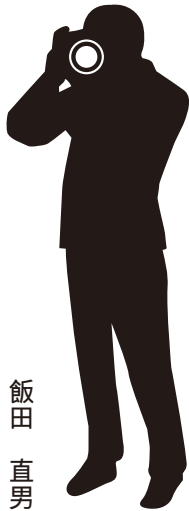


# 農土測協時報

新年ごあいさつ 「2023年を迎えて」	1
(一社)北海道農業土木測量設計協会	会長 橋本 智史
農業農村整備事業 優秀業者感謝状贈呈式	3
寄稿 「一度は見たかったエジプトの遺跡」	4
(一社)北海道農業土木測量設計協会	前会長 神 耐三
伊能大図フロア展	6
農業農村整備パネル展	8
社長 紹介	9
(株)グリーン測量	代表取締役 山崎 啓司
嵯峨秀栄測量設計(株)	代表取締役社長 嵯峨 輝幸
技術者資格取得支援事業 修了者より	11
小林技術コンサルタント(株)	林 優貴
お知らせ	12



# 撮影秘話



飯田  
直男

知床では、秋も深まりかける頃になると、オジロワシやオオワシを見かけることが多くなります。さらに、知床連山の山頂が白くなるとシベリヤ方面から飛来する数も増え、川沿いの大木に止まり、マスや鮭を狙う姿を頻繁に目にするようになります。ここの岩場も毎年11月頃になると、必ずと言っていいくらい2羽の姿を見かけることから、「お気に入りの場所」としているようです。毎年、ここに来る個体の姿形も同じようなことから、同一のペアが来ていることがうかがえます。

以前、ここを通りかかった時に、1羽だけで海の方を見

続けていたので、路肩に車を止め、しばらく観察していると、沖合の方から、もう1羽がこちらに向かって飛んできて、足に大きな魚をつかんできているのを見たことがあります。撮った画像を拡大してみると、どうやらボラを捕ってきたようで、その日は豪華な食事になったようです。

オオワシやオジロワシは知床に限らず、道内の各地に飛来してきますが、毎年同じ場所に飛来する個体は、同一の個体が多いようで、それもペアで飛来する個体は、どうやら「毎年のお気に入りの場所」としているようです。

## 農土測協時報

発行

一般社団法人 北海道農業土木測量設計協会  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西3丁目1-21 札幌北2条ビル5階  
TEL : 011-205-5310 FAX : 011-222-3277  
E-mail ndsk@sage.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://hokkaido-ndsk.or.jp/>

印刷

東洋株式会社

